

令和6年度新潟県立図書館運営基本方針 重点目標に係る取組状況

基本方針1 地域社会への貢献

・定量評価（5=100%以上 4=90～100% 3=80～90% 2=70～80% 1=70%未満）

・総合評価（A＝成果を上げている（4.5以上）、B＝順調に進んでいる（3.5以上4.5未満）、C＝概ね順調に進んでいる（2.5以上3.5未満）、D＝順調に進んでいるとはいえない（1.5以上2.5未満）、E＝事業の見直しが必要（1.5未満））

項目		具体的内容	指標	目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県の行政施策と連携した取組	県の行政施策をテーマとしたギャラリー展示の開催	・県各部局への周知 ・展示の実施	県立図書館を利用した所属数	32所属	○ ギャラリー展示は一般県民の利用とのバランスも図りながら、行政連携の充実に向けて各部局等へのPRに取り組んだ。 ＜実績＞ 4月 観光文化スポーツ部文化課「新潟出版文化賞受賞作品展」 7月 土木部道路建設課「にいがた「道」フォトコンテスト作品展」 7月 土木部河川管理課「7.13水害20年プロジェクト巡回パネル展」 11月 農林水産部林政課「にいがたフォレストリーマガジン写真展」 12月 環境局資源循環推進課「「海洋プラスチックごみ」削減パネル展」	34所属 内訳： ・ギャラリー展示5所属 ・図書コーナー設置13所属 ・図書貸出16所属 ※重複除く	達成率106% 評価（5） 100%以上	○ 行政連携展示のPRに取り組み目標を達成するとともに、図書館所蔵貴重資料等の展示も実施してギャラリー展示の充実に繋げた。 ○ ギャラリー展示に関連したテーマ展示も連携して実施し、情報発信の充実に図った。	A	○ 「ギャラリー展示の利用所属数」や「コーナー展示の利用所属数」についても様々な部署からの展示があり、毎年リピートしてもらえるように各部署への周知を引き続きしてほしい。「県所属向け図書貸出」の利用も順調であり、県立図書館が情報提供を通じて県行政の支援が行われていることは評価できる。 ○ ギャラリー展示や図書コーナーの設置については、県の施策・業務を県民に知ってもらう機会として重要と考える。リピート利用も良いが、未利用の課への働きかけもお願いしたい。 ○ 県政を親子で知ることが出来るような展示を期待する。各課や博物館などでの資料の活用をもっと県民に発信しても良い気がする→そこから、県立図書館への興味関心につなげてほしい。
	県の重点施策と関連した図書コーナーの設置	・県各部局への周知 ・展示の実施			○ 県施策に関する図書のPR展示について、県職員専用ポータルサイトで利用の呼びかけを行っている。申込があった所属に対しては展示に関する要望をできる限り聞き取り、設置後は展示の様子を撮影した写真や利用状況を共有することで、実施の意義や効果を感じてもらえるよう取り組んでいる。 ＜実績・予定＞ 4月 文化課、新潟県発達障がい者支援センターRISE 5月 環境対策課・愛鳥センター紫雲寺さえずりの里、県立歴史博物館 6月 健康づくり支援課、生活衛生課、防災企画課 7月 県立万代島美術館、防災企画課 8月 観光企画課、県立歴史博物館、県民生活課 9月 障害福祉課、新潟県消費生活センター、県民生活課 10月 防災企画課、健康づくり支援課、統計課、県立歴史博物館 11月 健康づくり支援課、県民生活課、県立万代島美術館 12月 県民生活課、空港課 1月 資源循環推進課 2月 県立近代美術館、県立万代島美術館、新潟県消費生活センター			○ 今年度初めて利用した所属が複数あった。同じ課からの利用でも異なる係から依頼のあった事例も多く、幅広い内容の展示を実施できた。博物館や美術館とは双方のHPやSNSアカウントで広報するなど、連携して情報発信に取り組んだ。 ○ 庁内のネットワーク移行に伴い県職員専用ポータルサイトの利用頻度の減少が予想されるため、今年度利用した所属にリピーターとなってもらうためのフォローや、ポータルサイト以外の周知方法も検討していく。		
	県所属への図書貸出の実施	・県庁貸出の手続改善 ・県各部局への周知			○ 前年度に引き続き、県職員専用ポータルサイトでPRを行った。PRの内容について、利用する際のイメージがわかりやすいように、具体的な活用方法を示すなど修正を行った。 ○ 県行政を支える取組として、県各所属や職員への情報提供によるサポート体制の更なる充実を目指し、運用改善を図っていく。			○ 継続して利用する所属のほかに、ポータルサイトのお知らせを見て利用をしてみたいという所属もあった。今後も効果的な周知を行い、利用につなげていく。 ○ 県所属からは「課題の解決に役立った」というコメントがあり、活用がなされていることを実感することができた。		
文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用	新潟県関係資料の積極的収集と活用	・出版情報の多角的な把握 ・積極的収集と展示 ・書庫等の保存環境の整備 ・行政資料の収集・展示			○ 出版情報の収集から、資料を入手して受入するまでの一連の業務の効率化を図るため、作業を細分化し複数の職員で取り組んでいる。 ○ 昨年1月の能登半島地震以降中断していた閲覧室内でのテーマ展示を、7月から場所を移動し、転倒防止を施した上で再開した。再開後は県立歴史博物館の企画展「上杉謙信・景勝と越後の領主」「大・佐渡島展」と連携した展示を実施した。 ○ 当館主催の「地域映像の上映会」や文書館主催の歴史講演会の開催に合わせ、利用者の興味を引き出すテーマで展示を行い、郷土資料のPRに努めた。			○ 他機関事業と連携した展示を行うことで幅広い層へのアプローチにつながり、その結果、郷土資料の貸出実績は前年同期比でほぼ同程度を維持している。受入数も前年度並みであるが、引き続き出版情報の収集に力を入れ、より多くの郷土資料の提供に努める。 ○ 今年度は井上円了と巻菱湖の遺墨（掛軸）2点の寄贈を受け、1月に当館エントランスギャラリーで開催の「新春掛軸展」で展示した。		
	越後佐渡デジタルライブラリーの充実	・デジタル資料の追加 ・利用環境の整備 ・利用者へのPR	越後佐渡デジタルライブラリーのアクセス件数	23,500件	○ デジタルライブラリーのトップ画面でデジタル化資料を様々な切り口で紹介しPRに努めるとともに、更新の都度、ホームページやSNSで情報発信を行った。またSNSでは、スレッド機能を利用したり、ユニークな画像を載せるなど、注目を集めるよう工夫した。 ○ 11月には、新潟県立自然科学館のイベントに県立図書館としてブースを出展し、デジタルライブラリーのPRポスターを掲示した。今後は県庁のポータルサイト等も活用し、新規利用者の開拓を図っていく。	22,783件 (前年度実績23,048件 対前年度比99%)	達成率97% 評価（4） 90～100%	○ 各種取組によりアクセス件数は上昇傾向にあったが、受変電設備更新工事と停電によるサーバ停止期間にサービスを提供できなかったため、目標値には届かなかった。引き続き、SNS上でクイズ形式など人を惹きつける投稿を行って、認知度の向上を図っていききたい。 ○ 今年度末に実施する新規資料のアップロードに際しても、積極的にデジタル化資料の魅力発信に努める。	B	○ 「越後佐渡DLアクセス件数」や「郷土人物/雑誌記事索引」についても目標値水準となっており、引き続き新規資料の公開や活用事例等の発信を続けてほしい。 ○ 越後佐渡デジタルライブラリーは、貴重な資料が登録されているので、さらに魅力発信をお願いしたい。写真や錦絵など画像検索できると利便性が高まるのではないかな。 ○ 「越後佐渡DL」のトップ画面へのアクセス改善が望まれます。 ○ 「越後佐渡デジタルライブラリー」、期待しております。どういう資料があるのかを県内外の方に興味をもっていただきたいので、現在、NHKの大河ドラマに山東京伝が登場しているので、その関連として「北越雪譜」をたくさん紹介してはいかがでしょうか。
	郷土人物/雑誌記事索引データベースの充実	・データの登録 ・県民へのPR	郷土人物/雑誌記事索引データベースのアクセス件数	12,600件	○ 前年度から「としょかん探偵～データベース活用事例～」のページを新設し、県内の観光イベントやゆかりの人物をテーマにした調べ方を掲載し、ニーズの掘り起こしを試みている。 ○ 今年度もページの更新に加え、採録対象雑誌を追加し、データベースの充実に取り組んだ。また、更新の都度、ホームページやSNSで情報発信を行い、利用増加に努めた。	12,669件 (前年度実績12,104件 対前年度比105%)	達成率101% 評価（5） 100%以上	○ 新規データの追加と、NDLレファレンス協同データベースやSNS等を活用して多角的に広報を展開したこと等によって、2月下旬以降アクセス件数が上半期比110%と飛躍的に伸び、目標を達成した。 ○ 郷土に関する調査・研究に役立ち、かつ目的とする資料を効率よく検索できるデータベースの利点を、活用事例等を通じて今後とも周知に努める。	A	○ 「郷土人物」の指標は、アクセス件数だけでなく、郷土資料の貸し出し冊数、郷土に関するイベント参加者数なども加える。 ○ 「越後佐渡DLアクセス件数」や「郷土人物/雑誌記事索引」についても目標値水準となっており、引き続き新規資料の公開や活用事例等の発信を続けてほしい。（再掲） ○ 郷土人物ですが、県内の偉人でも全国で活躍している方は、県外の書物にも意外な形で載っていることがありますので、国立国会図書館の検索機能でも確認いただけるとありがたいです。